

# 国連気候変動枠組条約拠出金

## 平成30年度予算額 0.8億円 (0.9億円)

産業技術環境局 地球環境対策室  
03-3501-7830  
産業技術環境局 地球環境連携室  
03-3501-1757

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

##### (1) 技術メカニズム拠出金

国際的な温暖化対策を進めることを目的とした国連気候変動枠組条約の下に、途上国に対する温暖化対策技術の移転を促進する枠組である「技術メカニズム」が設置されています。その構成要素の一つである、技術情報の途上国への提供等を行う「気候技術センター及びネットワーク (CTCN)」の運営等に係る費用として、国連気候変動枠組条約事務局及び当該センターに対して、我が国から拠出行っているものです。

##### (2) 京都メカニズム拠出金

京都議定書第一約束期間の削減目標を達成するため、京都メカニズムを活用し認証排出削減量等 (クレジット) を取得しました。我が国の民間企業は本期間及び調整期間終了後もクリーン開発メカニズム (CDM) に参加しており、日本の国別登録簿 (ITL) に接続する必要があります。この接続及び円滑な運営等に係る費用として、国連気候変動枠組条約事務局に対して、我が国から拠出を行っているものです。

#### 成果目標

(1) 平成29年度からの事業であり、資金拠出を通じて、CTCNにおける途上国への技術移転に積極的な関与を図り、我が国が持つ最先端省エネ技術等の普及につなげることで地球規模での省エネを進め、日本のエネルギー安定供給に寄与していくことを目指します。

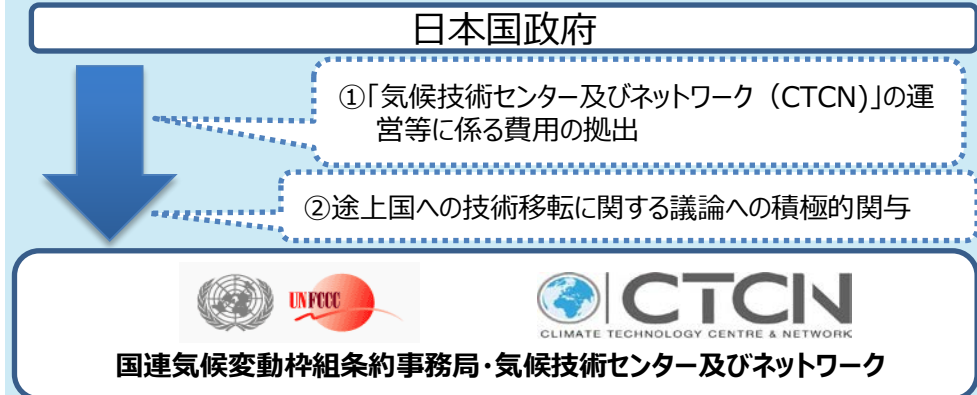
(2) 平成19年度からの事業であり、資金拠出を通じて、ITLに接続し、国別登録簿稼働率100%を目指すことで、企業等が京都クレジットを円滑に獲得できる状態を維持します

#### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



### 事業イメージ

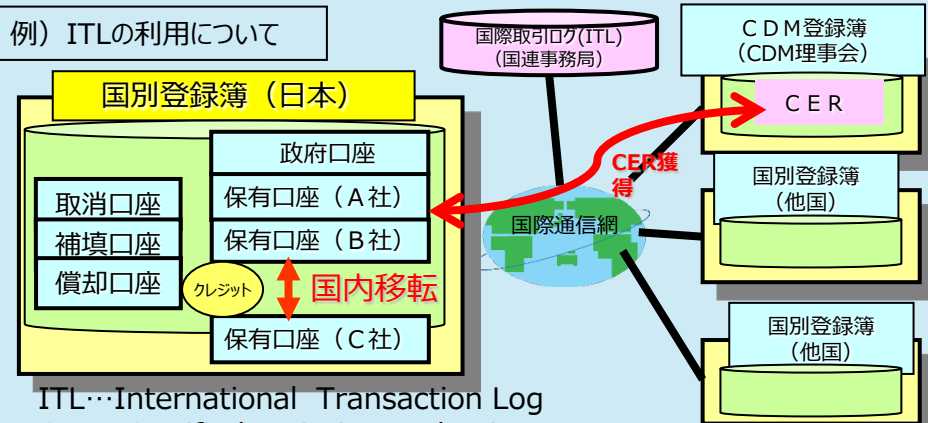
#### (1) 技術メカニズム拠出金



- 我が国の最先端省エネ技術等を戦略的に世界へ普及
- 地球規模での省エネに寄与

#### (2) 京都メカニズム拠出金

##### 例) ITLの利用について



ITL…International Transaction Log  
CER…Certified Emission Reductions (認証排出削減量)